

国際会計基準導入に向けた全銀協の対応

平成 21 年 12 月 2 日

全国銀行協会

○ 全銀協としての IFRS 導入に対するスタンス

- ✓ 「我が国における国際会計基準の取扱いに関する意見書（中間報告）」を踏まえ、IFRS 導入に向けて前向きに取り組んでいる。
- ✓ IFRS 導入に向けて、IFRS が我が国及び金融機関においても受入れやすい基準であるべきと考える。
- ✓ 昨年金融危機を発端にして、金融商品会計（IAS 第 39 号）の見直しが進められる中、IASB に対する意見発信、直接的なコミュニケーションに積極的に関わっているところ。

1. 検討体制等

平成 21 年度 全銀協会長行：三菱東京 UFJ 銀行

- ✓ 全銀協企画委員会（都銀、地銀、第二地銀、信託銀で構成）：経理検討部会、IFRS 減損検討部会
- ✓ IASB 対応検討委員会オブザーバー：小山田企画委員長
- ✓ IASB 金融商品 WG への参加
- ✓ 欧米金融機関団体（国際銀行協会（IBFed））との連携
- ✓ 我が国における IFRS の適用を踏まえて対応

2. IFRS 第 9 号「金融商品」（分類と測定）への対応

- ✓ IASB 理事との懇談（国債の取扱い）
- ✓ IASB 対応検討委員会における意見交換
- ✓ IASB 理事と経理検討部会委員等との意見交換会
- ✓ 公開草案に対する全銀協意見書の提出（別紙 1）
（株式配当金の PL 計上、非上場株式の評価の取扱い等）

3. IASB 公開草案「金融商品：償却原価と減損」等への対応

- ✓ IASB 「情報提供の要請」（金融資産の減損）に対する全銀協意見書の提出（別紙 2）
（PD/LGD のガイダンス、システム負担、準備期間等）
- ✓ IASB 「専門家会合（EAP：Expert Advisory Panel）」への参加

- ✓EAP の検討状況をフォローしつつ、IFRS 減損検討部会で検討・意見発信を行う
- ✓論点：実効金利法による償却・引当方法への影響、BIS 規制における PD/LGD との整合性等

4. 今後の対応

(1) IASB への対応

- ✓IASB ヘッジ会計の見直し
- ✓公正価値測定
- ✓IFRS の啓蒙活動

(2) 日本基準への対応

- ✓金融商品会計の見直し

以 上